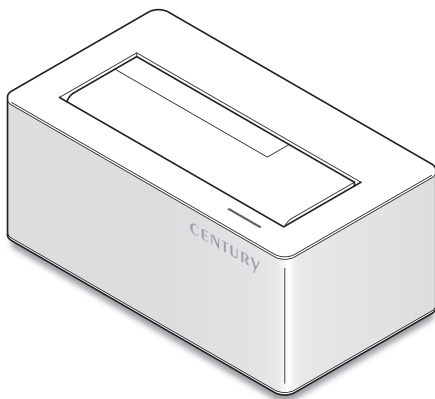
New裸族のお立ち台

CROSEU3S
取扱説明書

【はじめに】

このたびはCROSEU3Sをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本取扱説明書を必ずお読みください。

【安全上のご注意<必ず守っていただくようお願いいたします>】

・ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。

■ 次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

⚠警告	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。
⚠注意	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害ないし物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。

⚠警告

■ 煙が出る、異臭がする、異音がでる
煙が出る、異臭がする、異音がでるときはすぐに機器の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 機器の分解、改造をしない
機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。
点検および修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 機器の内部に異物や水を入れない
筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない
台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。

■ 不安定な場所に機器を置かない
ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

■ 電源の指定許容範囲を守る
機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

■ 電源コード、接続コードの取扱いについて
電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。

■ 雷が鳴り出したら電源コードに触れない
感電したり火災の原因となります。

■ ぬれた手で機器に触れない
ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

⚠注意

■ 設置場所に関しての注意事項
以下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。
・台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
・浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
・常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
・火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
・有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
・金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
・機械加工工場など切削油または研削油が立ち込めるところ
・食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
・直射日光のあたるところ

■ 長期間使用しない場合は接続コードを外してください
長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。

■ 機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください
移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。

■ 小さいお子様を近づけない
お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。怪我等の原因になることがあります。

■ 静電気にご注意ください
本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

■もくじ

【制限事項】

・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
・本製品はSATA HDD/SSD専用です。パラレルATA（IDE）HDD/SSDは使用できません。

【ご使用の前に】

・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いします。
・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
・Windowsは Microsoft Corporation の登録商標です。
・Macは Apple Inc. の登録商標です。
・「REGZA」は株式会社東芝の登録商標です。
・記載の各商品、および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
・イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
・改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

本製品はHDD/SSD等のSATA機器をむき出しのままPCに接続するための製品です。
本来、ケースなどに内蔵して使用するSATA機器を露出したまま通電させることになりますので、感電等の事故、およびSATA機器へのほこりや水分等の付着には十分ご注意ください。
また、静電気も機器を破壊する原因となりますので、SATA機器の取り扱い時には静電気防止バンド等を用いて、故障の防止に努めてください。

【製品仕様】

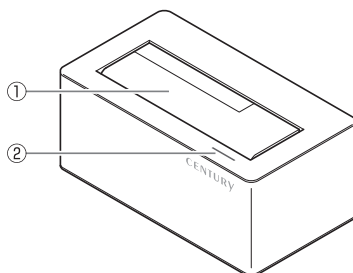
■ 型　　　　　番：CROSEU3S
■ 商　　品　　名：New裸族のお立ち台 USB3.0 & eSATA
■ インターフェイス：【デバイス側】SATA Ⅰ Ⅱ/1.5Gbps/3.0Gbps、
【ホスト側】USB3.0/eSATA
■ USBコネクタ形状：Standard Bタイプ
■ 重　　　　　量：約360g（ドライブ含まず）
■ 寸　　　　　法：W130mm×H55mm×D71mm（突起部含まず）
■ 温　度・　湿　度：温度5 ～ 35℃、湿度20 ～ 80%（結露なきこと、接続するPCの動作範囲内であること）
■ ACアダプター仕様：AC入力 100V ～ 240V DC出力 12V 2.5A

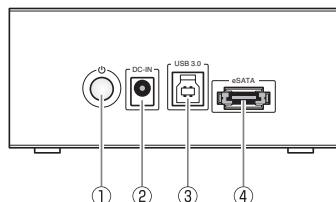
※ 本製品にHDD/SSDは付属しておりません。

【製品内容】

■ CROSEU3S本体
■ 専用USB3.0ケーブル
■ 専用eSATAケーブル
■ 専用ACアダプター
■ 専用ACケーブル
■ 取扱説明書/保証書

【各部の名称】

〈上面〉

①HDD差し込み口
②ステータス/アクセスLED
・電源ON時：青色に点灯
・HDDアクセス時：青色⇔ピンク色に点滅

〈背面〉

①主電源スイッチ
②電源コネクタ
③USB3.0コネクタ
④eSATAコネクタ

【対応HDD/SSD】

＜HDD＞

■ 2.5インチまたは3.5インチのSATA HDD
（SATA Ⅰ/Ⅱ/ 3.0 / 1.5Gbps / 3.0Gbps / 6Gbps）

※ 本製品はSATA HDD専用です。PATA（IDE）HDDは接続できません。
※ 本製品はSATA 6GbpsのSATA HDDが接続可能ですが、インターフェイス側がUSB3.0またはeSATA（3Gbps）のため、転送速度はそれぞれのインターフェイスの上限速度となります。
※ 3TBまでのHDDで動作確認を行っております（2011年11月現在）。
対応HDDの最新情報はサポートセンターにお問い合わせください。
※ SAS（Serial Atached SCSI）HDDは使用できません。
※ 3.3V駆動の2.5インチHDDは動作しません。

＜SSD＞

■ MLCタイプの2.5インチSATA SSD（SATA Ⅰ/Ⅱ/ 3.0 / 1.5Gbps / 3.0Gbps / 6Gbps）

※ 1.8インチ、ZIFコネクタ、3.3V駆動および特殊形状（ASUS Eee PCの内蔵SSD等）のSSDは接続できません。
またSLCタイプのSSDにつきましては動作保証対象外とさせていただきます。
※ 5V駆動のものに限ります。

【対応機種】

＜USB接続＞

■ Windows

・USB3.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機（USB3.0モード動作時）
・USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機（USB2.0モード動作時）
・CPUクロック2GHz ／メインメモリ1GB以上推奨　※intelチップセット搭載モデル推奨

※ intelチップセット搭載モデル推奨
※ sis7000/7001/7002.PCI to USB Host Controller 搭載PCは、USB Host Controller の問題で正常に動作しない可能性があります。

■ 動作確認済みUSB3.0ホストインターフェイス

センチュリー：CIF-USB3P2　バッファロー：IFC-PCIE2U3　ラトックシステム：REX-PEU3

・ルネサスエレクトロニクス(NECエレクトロニクス)製USB3.0ホストコントローラー推奨。
※USB3.0 で接続する場合は、USB3.0 ホストインターフェイスが必要になります。
従来の USB2.0 ホストにも接続できますが、その場合の転送速度の上限は USB2.0（480Mbps）になります。

■ Mac

・USB2.0インターフェイスポートを搭載したIntel Mac

※ Power PC搭載のMacは動作保証外になります。
※ USB2.0ポートを標準搭載していない機種に関してはサポート対象外となります。
※ Macで使用する場合はUSB2.0（480Mbps）での接続になります。

■ 東芝REGZA：REGZA9000シリーズ以降

※ 製品の構造上ほこり等に弱いため、常設して録画するには向きません。常設して予約録画を行う際は、ケースに入った製品をご利用ください。
※ USB2.0として動作します。速度もUSB2.0相当となります。また、eSATA接続はサポート外になります。

＜eSATA接続＞

■ Windows：eSATAインターフェイスを備えたPC/AT互換機
■ Mac：eSATAインターフェイスを備えたMac

【対応OS】

<Windows>

■ Windows 7（64/32bit)、Windows Vista（64/32bit)、Windows XP（32bit SP3）

※Windows Updateにて最新の状態にしてご使用ください。

※Windows 95 / Windows 98 / Windows 98SE/ Windows 3.x / Windows NT / Windows Me/ Windows 2000では動作しません。

<Mac>

■ Mac OS 10.7.2、10.6.8、10.5.8

※ 製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

本製品からのOS起動に関して

本製品はUSB接続時のOS起動には対応していません。eSATA接続時の起動に関しては、eSATAホストインターフェイスの取扱説明書をご確認ください。

SATA HDDの取り扱いについて

HDDの保護のために、未使用時は本製品からHDDを取り外して保管してください。
SATA HDDの接続コネクタにはメーカーの推奨するHDDの着脱保証回数が設定されております。
この回数を超えるとHDDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。

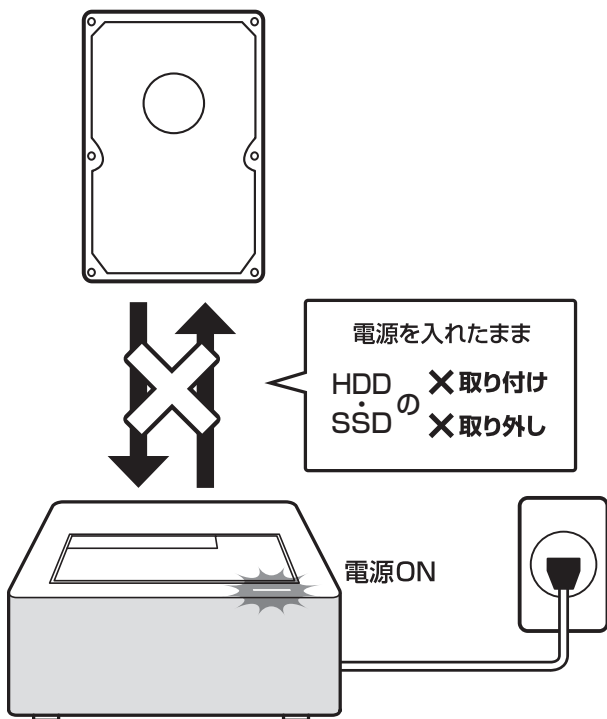
裸族坊やセンちゃんからのお願い

裸族シリーズは、内蔵用ＨＤＤや内蔵用SSDをケースに入れず、剥き出し＝裸のまま手軽に使用することを想定して作られています。しかし、内蔵用ＨＤＤや内蔵用SSDは本来とてもデリケートな精密機器です。
特に静電気やほこりに弱いので、必ず静電気の除去作業を行ってからＨＤＤ/SSDを取り扱うようお願いいたします。
また、ＨＤＤ/SSDを保管する時は高温多湿を避け、静電防止袋等をご使用の上、大切に保管していただくようお願い致します。

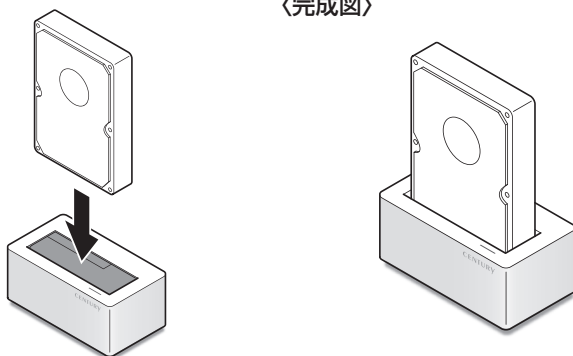
【HDD/SSDの取り付け方法】

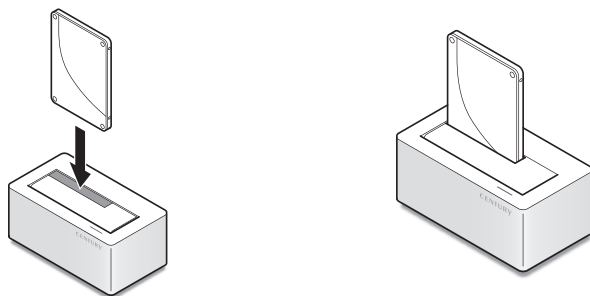
■ HDD/SSD接続の前に

・HDD/SSDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
・HDD/SSD接続の際には、静電気に十分注意してください。
　人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
　作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

⚠警告
■ 接続および電源投入の順序にご注意ください！！
・本製品はまずHDD/SSDを接続後、電源を投入して認識する仕様となっております。
・本製品のみの接続、または電源投入後の抜き差し（ホットスワップ）には対応しておりません。
※上記のような接続および電源投入を行うと、データの破損や本製品または接続したHDD/SSDの故障をまねく可能性がございます。

※本製品はSATA HDD/SSD専用です。PATA(IDE)HDD/SSDの取り付けはできません。

■ 3.5" HDDの取り付け方法

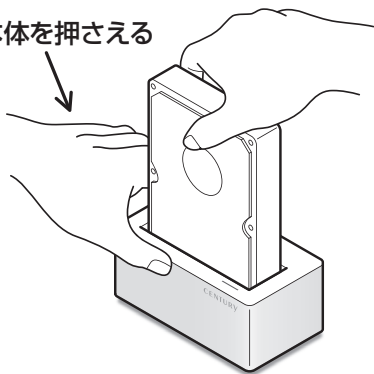
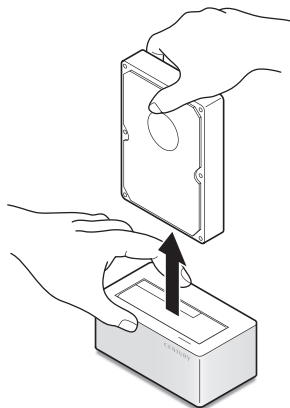
1. HDDのコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態で本製品にゆっくり差し込みます。

■ 2.5" HDD/SSDの取り付け方法

1. HDDのコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態で本製品の2.5" HDD用切り欠き部分にゆっくりと差し込みます。

■ 注意！

HDD/SSDを装着する際は、HDDの向きとSATAコネクタの位置に注意してゆっくり差し込んでください。
ちからまかせに押し込むと破損や故障の原因となります。

【HDD/SSDの取り外し方法】

※本製品はSATA HDD/SSDのホットスワップには対応しておりません。
HDD/SSDを取り外す際は、必ず電源をOFFにしてから行うようにしてください。

1. 本製品を押さえながら、HDD/SSDをつかみます。（イラストはHDD）

2. そのままゆっくりと垂直にHDD/SSDを取り外します。

■ 注意！

HDD/SSDを取り外す際は必ずHDD/SSDに手を添えて行ってください。
手を添えずに取り外しを行うと、HDD/SSDのコネクタを破損するおそれがあります。

【PCとの接続方法】

〈お使いのPC〉

PC

eSATAホストインターフェイスのeSATAコネクタ

USB3.0コネクタ

〈本体背面〉

DC-IN

USB 3.0

eSATA

⚠ 向きに注意

USB 3.0

⚠ 向きに注意

eSATA

専用ACアダプター（付属）

専用ACケーブル（付属）

コンセント（100V AC）

USB3.0またはUSB2.0/1.1コネクタへ
※PC側のUSBインターフェイス形状はUSB3.0/USB2.0/USB1.1ともに共通ですので、USB3.0以外のUSBホストにも付属のUSB3.0ケーブルで接続可能です。

専用USB3.0ケーブル（付属）

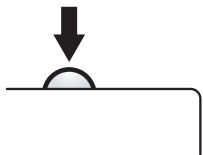
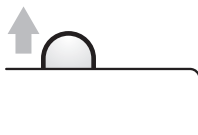
同時に使用することはできません。

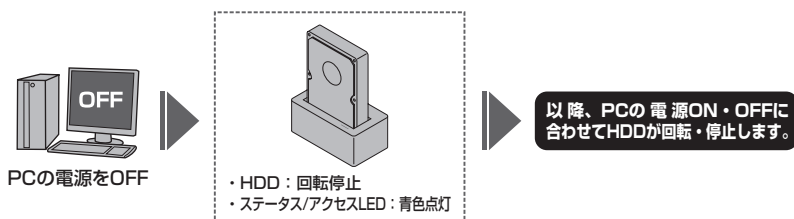
専用eSATAケーブル（付属）

各ケーブル接続後、主電源スイッチを入れる

※図はイメージです。また、eSATAケーブルはきつく曲げないようにしてご使用ください。

【電源のON/OFFについて】

主電源スイッチは押しボタン式です。突出した状態から1度押してON、もう1度押せば元に戻りOFFになります。
各ケーブルを接続する前にOFFになっていることをご確認ください。

【電源連動機能について】

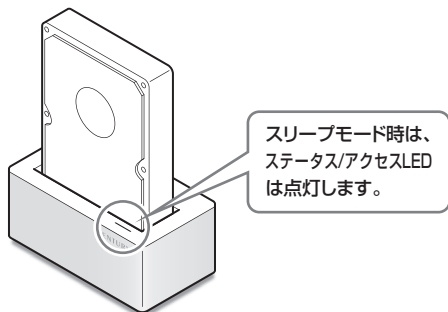
PCの電源をOFFにすると、HDDの回転が停止します。この時、本体上面のステータス/アクセスLEDは青色に点灯したままになります。
以降、PCの電源ON・OFFに合わせてHDDが回転・停止するようになります。

※HDD/SSDの抜き差しを行う際は、必ず主電源を「OFF」にして行ってください。
主電源がONの状態でHDD/SSDの抜き差しを行うと、データが消失、または破損する可能性があります。

※本機能はPCからの信号を感知してHDDの回転を制御するため、常時3W程度の電力を消費します。
長時間ご使用されない場合は、本製品の主電源をOFFにしてください。
また、本製品の電源連動機能はお使いのPCによってはご使用できない場合がございます。
その際は電源連動機能を使用せず、手動で電源ON/OFFを行ってください。

【スリープ機能について】

本製品に取り付けたHDDに5分以上アクセスがない場合、またはPCとの接続を切り離した場合（PCの電源OFFを含む）スリープモードに入り、HDDの回転が停止します。
HDDにアクセスを再開、またはPCと再接続すると、スリープモードが解除されます。

※スリープモード時は約3W程度の電力を消費しますので、長時間使用しない場合は本製品の電源をOFFにすることをおすすめします。
※USB接続時のみ動作します。

スリープモード時

【領域の確保とフォーマット】

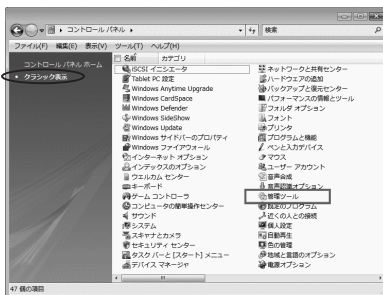
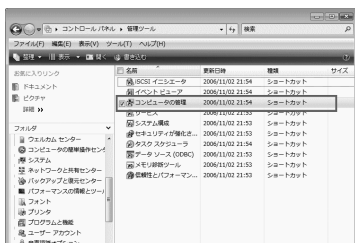
注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。
細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。

> ※この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。
> 消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

□ Windows 7、Windows Vistaの場合

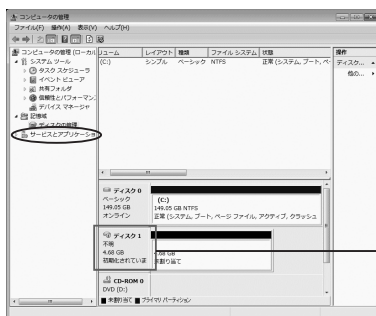
1.

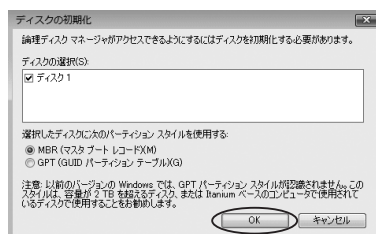
【コントロールパネル】→【表示方法：小さいアイコン】→【管理ツール】（Windows 7）

【コントロールパネル】→【クラシック表示】→【管理ツール】（Windows Vista）

※コントロールパネルを開いても【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

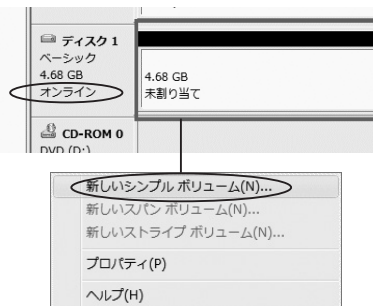
※このとき【ユーザーアカウント制限】ウインドウが表示されます。【続行】をクリックしてください。
続行できない場合は、ユーザーに管理者としての権限がありません。
システムの管理者にご相談ください。

3.

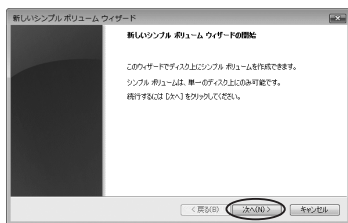
ディスクの初期化(I)
プロパティ(P)
ヘルプ(H)

【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。
そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

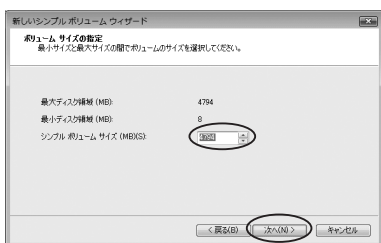
4.

【ディスクの初期化】ウインドウが表示されます。

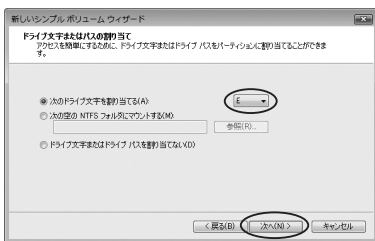
先ほど選択したディスクで間違いないかを確認して【OK】をクリックします。
※パーティションスタイルについて
パーティションスタイルに関しては2TB超の容量を扱う場合以外は、MBR形式を使用することをおすすめします。GPT形式は Windows XPでは読み書きすることができません。
また、ハードウェアの仕様によって、2TBを超える容量が扱えない場合もございます。
GPT形式であれば2TBを超える容量が扱えるわけではないことに注意してください。

5.

【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。
この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

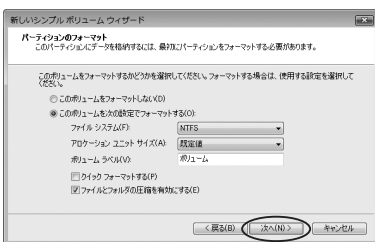
ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

6.

【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。
設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.

【ボリュームサイズの指定】が表示されます。
MB（メガバイト）単位でボリュームサイズを指定します。
ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。特に指定しなければ最大容量で設定されます。
設定したら【次へ】をクリックします。

8.

【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウインドウが表示されます。
ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。
こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

9.

【パーティションのフォーマット】ウインドウが表示されます。

・ファイルシステム
NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

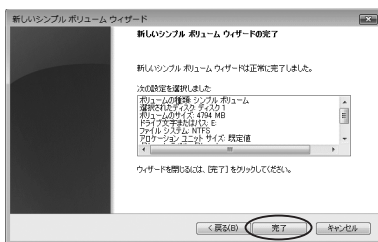
・アロケーションユニットサイズ
パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値で問題ありません。

・ボリュームラベル
マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

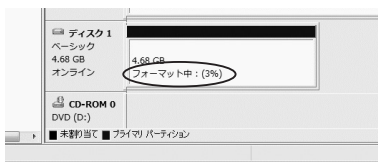
・クイックフォーマット
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。
通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない替わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。
通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。
一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

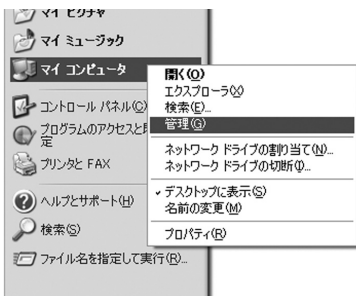
10.

【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウインドウが表示されます。

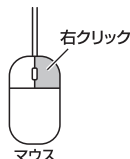
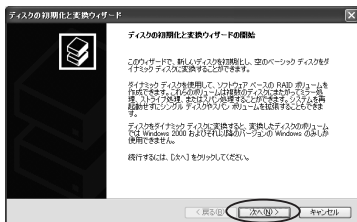
テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

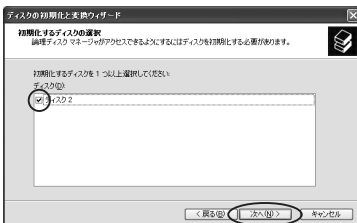
11.

これでフォーマットの作業は完了です。ディスクの管理の容量表示ウインドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。
フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。

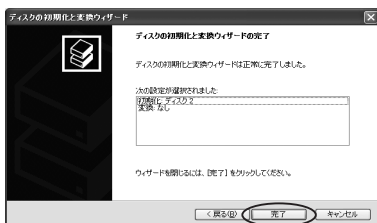
□ Windows XPの場合

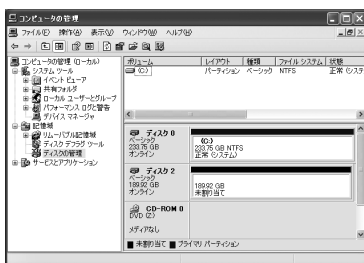
注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザでログインして行ってください。

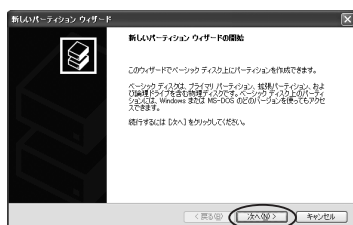
1.

スタートメニューのマイ コンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。
「コンピュータの管理」ウインドウが開きます。

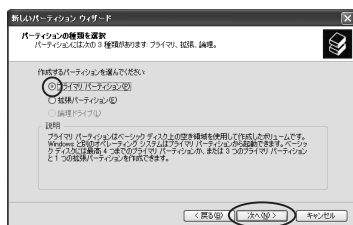
2.

「コンピュータの管理」ウインドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウイザード」が表示されます。
「次へ」をクリックします。

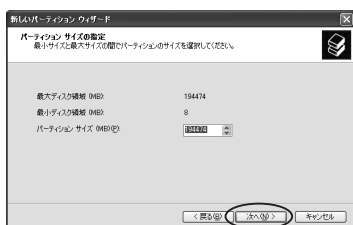
3.

「署名するディスクの選択」ウインドウが表示されます。
署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

4.

「ディスクのアップグレードと署名ウイザード完了」ウインドウが表示されます。
「完了」をクリックしてウインドウを閉じます。

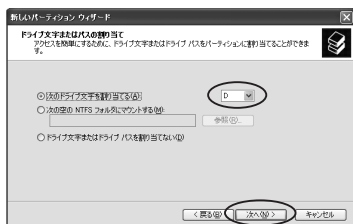
5.

次にパーティションの作成を行います。「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成（P)..」を選択します。

6.

「パーティション作成ウイザード」が表示されます。
「次へ」をクリックします。

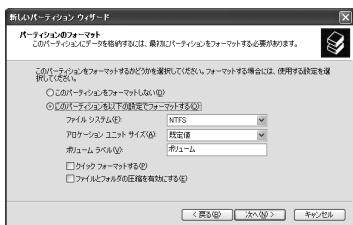
7.

「パーティションの種類を選択」ウインドウが表示されます。
「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。
※1つのディスクを5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。

8.

「パーティションサイズの指定」ウインドウが表示されます。
「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量（1パーティション）ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウイザード」を繰り返して行うことで、複数のパーティションを作成することができます。

9.

「ドライブ文字またはパスの割り当て」ウインドウが表示されます。
ドライブ文字を指定して「次へ」をクリックします。

※「ドライブパスをサポートする空のボリュームにマウントする（M)」はWindows XPの機能で、元々あったHDDの中に、新しいHDDを増設する方法です。詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

10.

「パーティションのフォーマット」ウインドウが表示されます。
このウインドウでフォーマット設定をすることができます。

・使用するファイルシステム
　NTFSとFAT32が選択可能です。

※Windows XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。

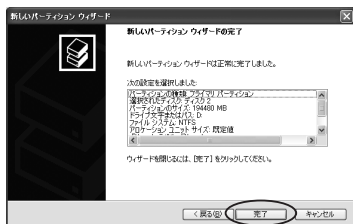
・**アロケーションユニットサイズ**
　アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。

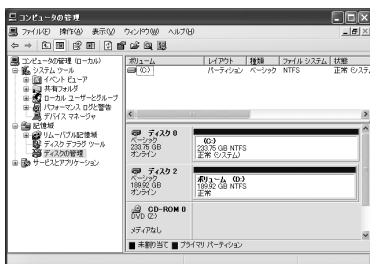
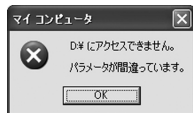
・**ボリュームラベル**
　「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。

・**クイックフォーマットする**
　このチェックボックスを入れておくとフォーマット時にクイックフォーマットを行います。以前フォーマットされていたHDDのみ使用可能です。新規のディスクはクイックフォーマットすることができません。

・**ファイルとフォルダの圧縮を有効にする**
　Windowsのファイル圧縮機能を使用します。
　ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様的にファイルの読み書き速度の低下を招くようです。詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

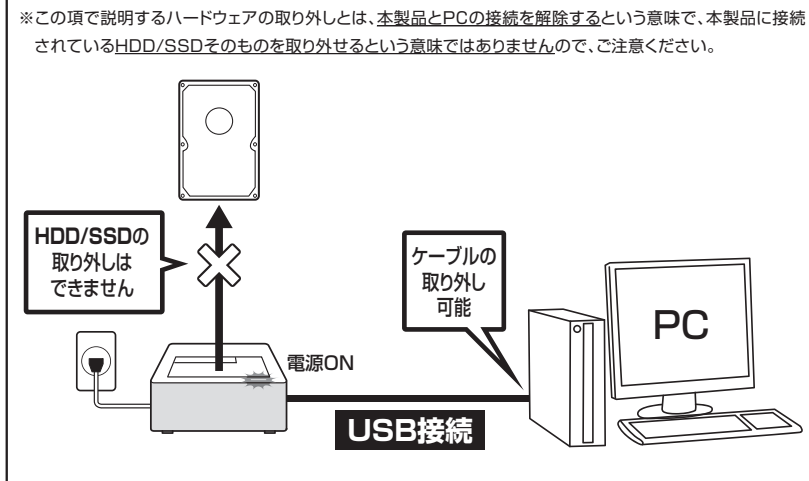
　すべて設定して「次へ」をクリックします。

11.

「パーティション作成ウイザードの完了」ウインドウが表示されます。
「完了」をクリックして閉じます。

12.

フォーマットが開始されます。
「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。
進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。
使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行ってみてください。

フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
フォーマット中は、コンピュータ、HDDの電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。
故障の原因となります。

【ハードウェアの取り外しについて】

本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。
※eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、PCの電源を切った状態で行ってください。

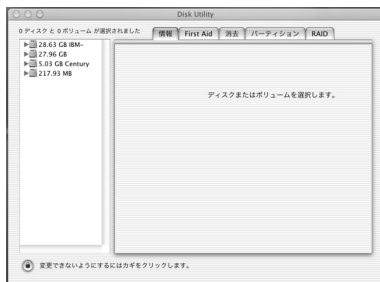
※この項で説明するハードウェアの取り外しとは、本製品とPCの接続を解除するという意味で、本製品に接続されているHDD/SSDそのものを取り外せるという意味ではありませんので、ご注意ください。

1. 本製品を接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。
   取り外す際は「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。デバイス名は以下のように表示されます。
   - **Windows XP ……… USB大容量記憶装置デバイス**
   - **Windows Vista …… USB大容量記憶装置**
   - **Windows 7 ………… USB to ATA / ATAPI Bridge**

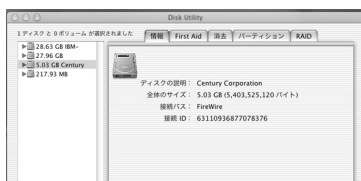
2. 取り外し完了のメッセージが表示されれば完了です。
   電源スイッチをOFFにしてケーブルを取り外してください。

※取り外しの詳しい手順はOSにより異なりますので、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照の上、作業を行ってください。
「ハードウェアの取り外し」の手順を経ずに本製品を取り外すと、HDDのデータが破損したり、消失するおそれがありますので、必ず「ハードウェアの取り外し」の処理を行ってください。

【Macでの使用方法】

Mac OS XでのフォーマットはOS標準の「Disk Utility」を使用します。
※あらかじめMacフォーマットを行ったハードディスクはそのまま使用可能です。

1.

「Disk Utility」を起動します。
※「Disk Utility」は、アプリケーション>Utilityの中にあります。
左側に接続されているフォーマット可能ディスクの一覧が表示されます。
本製品は、
「xxGB（HDD容量）xxxxxx（HDDのモデル名）media」
と表示されます。
これをクリックして選択します。

2.

接続されているディスクの情報が表示されます。

3.

上の「パーティション」タブをクリックします。
パーティション設定を変更できます。

- **ボリュームの方式**
  作成するボリューム数を選択します。8つまで分割して作成することが可能です。
- **ボリューム**
  メディアの分割状況が表示されます。

- **ボリューム情報**
  ボリューム情報は「ボリュームの方式」で選択されたボリューム情報を変更します。
  「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択するとパーティション毎に設定を変更することが可能です。

- **名前**
  作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。

- **フォーマット**
  作成するボリュームのフォーマットを選択します。「Mac OS標準」､「Mac OS拡張」､「UNIXファイルシステム」、「空き領域」が選択できます。通常は「Mac OS拡張」を選択してください。

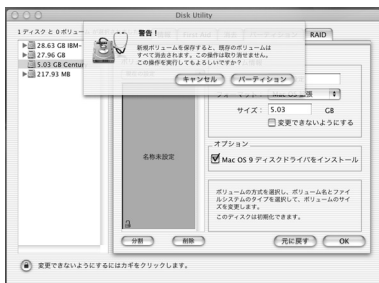
- **サイズ**
  作成するボリュームのサイズを変更できます。

- **オプション**
  「Mac OS 9ディスクドライバをインストール」のチェックをするとMac OS 9で動作するドライバをインストールします。

- **分割**
  選択されているボリュームを同じ容量で分割します。

- **削除**
  選択されているボリュームを削除します。

- **元に戻す**
  直前の変更を元に戻します。

4.

すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。

5.

パーティションが作成され、デスクトップにマウントされます。

取り外しをする場合はこのアイコンをDockの中のごみ箱にドロップします。
※HDDを複数台使用している場合、HDDは個別に取り外しを行うことはできません。
取り外しを行う際は、認識しているHDDをすべてごみ箱にドロップしてください。

#【東芝製液晶テレビREGZA（レグザ）での使用について】

本製品は東芝製液晶テレビ「REGZA（レグザ)」の録画用外付けHDD/SSDとして使用できます。

⚠注意

～ご使用の前に～

・本製品をREGZAで使用する際、組み込まれたHDD/SSDはREGZAの録画専用に初期化されます。PC等のデータが入っているHDD/SSDを使用する場合は、必ずバックアップを行ってから使用してください。

・本製品はREGZA R9000シリーズでテストを行い、正常に録画・再生ができることを確認していますが、組み込んだHDD/SSDによっては正しく動作しない可能性があります。継続的なご使用の前に必ず録画、予約録画、再生、早送り再生等が問題なく動作することを確認してからのご使用を強くおすすめします。

・何らかの不具合が発生して録画ができなかった内容の補償、録画されたデータの損失およびこれらに関わる直接、間接の損害につきましては、弊社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■ 接続方式

USB接続　※eSATA接続はサポート外です。

■ 対応機種

REGZA 9000シリーズ以降

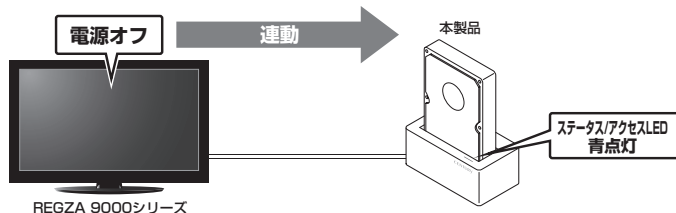
※REGZA自体に録画機能がないモデルには対応しません。

接続方法

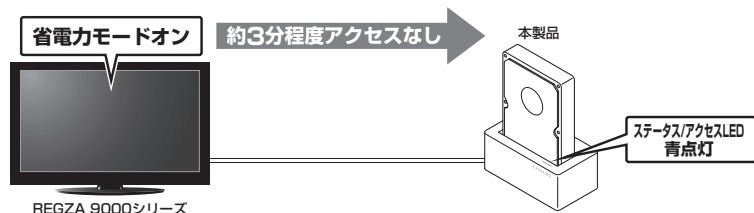
※録画設定については、お手持ちのREGZAの取扱説明書をご確認ください。

電源オン/オフ時の本製品の動作について

・REGZAの電源オフにすると、連動してHDDの回転が停止します。

・REGZAの電源をオンにすると、連動してHDDが回転します。

省電力モード時の本製品の動作について

REGZAの省電力モードをオンで本製品を使用すると、一定時間（約3分程度）アクセスがない場合、HDDと冷却ファンの回転が停止します。この時本製品のステータス/アクセスLEDは消灯します。

・録画やHDDの設定を開始すると、HDDの動作が再開します。
※HDDの動作が停止していても待機電力を消費しますので、長時間ご使用にならない場合は主電源を切り、取り外すことをおすすめします。

〈録画時間の目安〉

画質モード/容量	320GB	500GB	1TB	2TB
地上デジタルHD (最大20Mbps)	34時間	53時間	106時間	212時間
BSデジタルHD (最大24Mbps)	28時間	44時間	88時間	116時間
SD画質 (最大8Mbps)	84時間	131時間	262時間	524時間

【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。
「故障かな？」と思われましたら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■ 認識されない

以下の点をご確認ください。
・接続ケーブル、ACケーブルが正しく接続されているか
・eSATA I/F接続の場合、正しくドライバがインストールされて動作しているか

■ USB3.0接続時にUSB2.0として認識してしまう

本製品の電源をONにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによってUSB2.0機器として認識してしまう場合があります。
本製品の電源はOFFの状態で各ケーブルを接続し、主電源スイッチをONにしてください。

■ eSATA接続時、Windowsが起動後に接続すると認識されない

eSATAのホストアダプタの仕様やモード設定によっては、パソコンの起動時に本製品を接続しておかないと認識できない場合があります。お使いのeSATAホストアダプタの仕様をご確認ください。
また、マザーボードのeSATAポートを使用している場合、BIOS上でSATAの動作モードがIDE互換モードになっていると、Windows起動後の接続ができません。
この場合は〈AHCIモード〉に変更することで改善する可能性があります。
※ システムの起動HDDと本製品が同じSATAホストに接続されている状態でモード変更を行うと、Windowsが起動しなくなる場合がありますのでご注意ください。

■ eSATA接続だと認識するが、USB接続だとマイコンピュータにアイコンが表示されない（Windows）

ダイナミックディスク形式でHDDを初期化していないかご確認ください。
USB接続の場合はスタンダード形式のみ使用可能です。

■ WindowsでeSATA接続時、ハードウェアの取り外しに本製品のHDDが表示されない

eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、接続されたeSATA I/Fによって可能かどうかが異なります。
詳しくはお使いのeSATA I/Fの製造元にお問い合わせください。
また、eSATA HDDの動作中の取り外しは、設定によってはデータの破損等につながる場合がありますので、弊社ではおすすめしておりません。

■ 2TBを超えるボリュームを初期化しようとすると2TBで分割されてしまう（Windows Vista / Windows 7）

MBR形式の場合、1パーティションの上限が2TBまでとなります。
GPT形式にて初期化することで2TB以上のパーティションを作成することが可能です。

■ 電源ランプが点灯してもHDDが回転している音がしない

配線が正しく接続されているかご確認ください。また、付属のケーブル以外を接続されると、故障や事故の原因となりますので、必ず付属のケーブルをご使用ください。

■ スリープ、スタンバイから復帰するとフリーズする、アクセスできない

本製品はWindows、Macともに、スリープ、スタンバイに対応しておりません。
スリープ、スタンバイする前に取り外しを行ってください。

■ 新しいHDDをセットしたが、マイコンピュータ内（Windows)、デスクトップ（Mac）にHDDのアイコンが表示されない

新しいHDDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。
【領域の確保とフォーマット】または【Macでの使用方法】を参照して初期化の作業を行ってください。

• Windowsでお使いの場合→P.11【領域の確保とフォーマット】をご確認ください。
• Macでお使いの場合→P.23【Macでの使用方法】をご確認ください。

■ 2TBのHDDを接続したのに、認識される容量が1.8TB程度になってしまう

計算方法の違いはないか、ご確認ください。
ほとんどすべてのハードディスクドライブメーカーは、公称容量を

• 1MB = 1,000,000 バイト

で計算した値で示しています。それに対し、一般的には、

• 1KB = 1024 バイト
• 1MB = 1024 × 1024 = 1,048,576 バイト
• 1GB = 1024 × 1024 × 1024 = 1,073,741,824 バイト
• 1TB = 1024 × 1024 × 1024 × 1024 = 1,099,511,627,776 バイト

です。
たとえば2TBと表示されているドライブの場合、これを一般的なTBに換算してみますと、

• 2,000,000,000,000 ÷ 1,099,511,627,776 = 約 1.8TB

となり、200GB程度少なくなることがお分かりいただけると思います。
このような計算方法が（ハードディスクドライブメーカーでは）一般的となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

【FAQ】

Q：使用できるHDDの最大容量は？

A：3TB（テラバイト）までとなります。（2011年11月現在）

Q：カードリーダーのようにHDD/SSDを抜き差しして使うことは可能ですか？

A：残念ながらできません。本製品はあくまでドライブアダプターですので、電源を切った上で抜き差しをする必要があります。

> 電源を入れた状態でHDD/SSDを抜き差しすると、正常に認識しないばかりか、本製品並びにHDD/SSDを故障させる可能性があります。

Q：着脱可能回数は何回ですか？

A：本製品に装備されているコネクタの耐久性は約10,000回となっております。
HDD/SSD側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数はHDD/SSDの製造メーカーにお問い合わせください。

Q：OSの起動は可能ですか？

A：eSATA接続でかつ、ホストがeSATA起動可能である場合のみ使用できます。ただし、すべての環境でのOS起動を保証するものではありません。
※USB接続でのOS起動はサポート対象外とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

― ご注意 ―

1．本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2．本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3．本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4．運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5．本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※ 記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。
※ This product version is for internal Japanese distribution only.
It comes with drivers and manuals in Japanese.
This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.

【販売・サポート】
株式会社 センチュリー

■ サポートセンター
〒277-0872 千葉県柏市十余二翁原240-9
TEL 04-7142-7533（平日 午前10時～午後5時まで）FAX 04-7142-7525
http：//www.century.co.jp/ e-mail : support@century.co.jp
【お願い】修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから発送をお願いいたします。

弊社商品についてのご意見・ご感想をお聞かせください

この度はセンチュリー商品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
今後の商品開発等の参考にさせていただきたいと思いますので、商品についてのご意見・ご感想をお聞かせください。
下記eメールアドレス、またはURLにて受け付けております。どうぞよろしくお願いいたします。

【e-mail】call@century.co.jp

【URL】http://www.century.co.jp/call.html